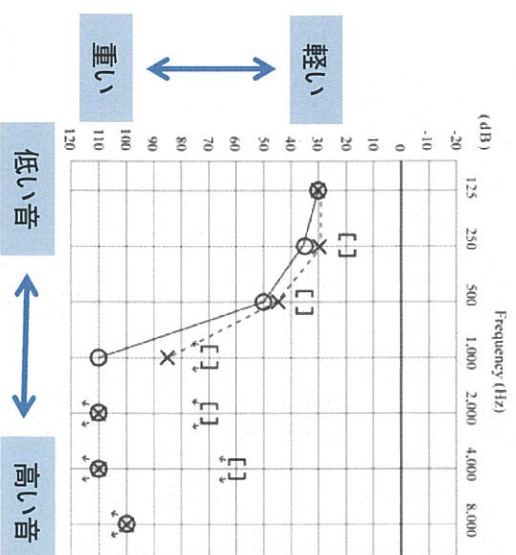


# 高度医療 残存聴力活用型人工内耳挿入術 概要概念図

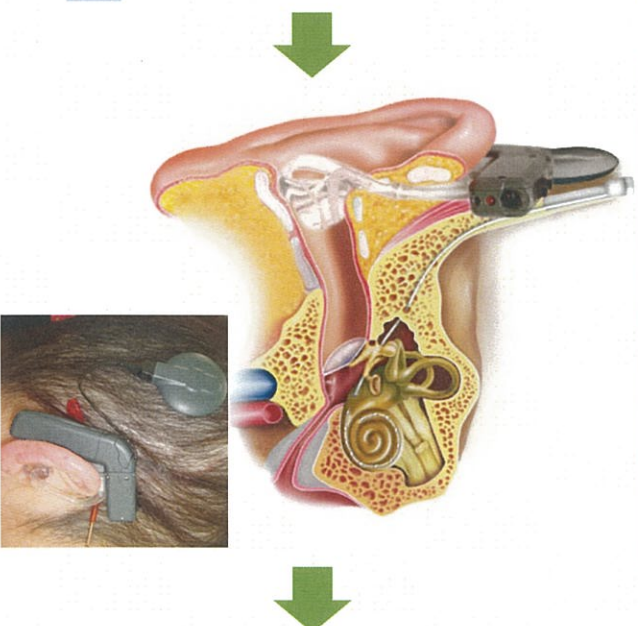
第94回先進医療技術審査部会  
令和2年1月18日

資料1-2

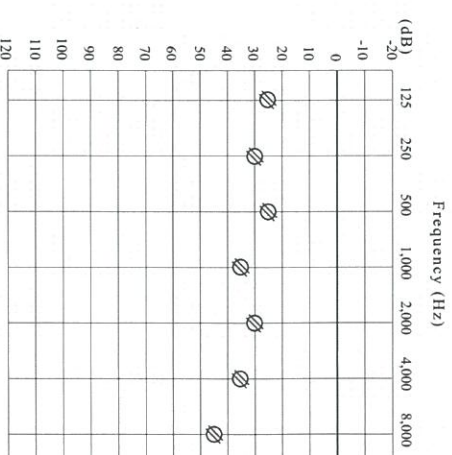
## 手術前の聴力(難聴の程度)



## 残存聴力活用型人工内耳挿入術



## 手術後の聴力



高音急墜型・漸傾型の聴力を呈する難聴患者

- ・高音部が高度の難聴
- ・低音部には聴力が残っている
- ・通常の補聴器では補聴が困難

## 手術

- ・手術により内耳に電極を挿入
- ・通常の人工内耳より先端が細くしなやか(低音部の聴力を温存)
- ・残存聴力を活用する専用の体外器(スピーチプロセッサ)を用いて聴取する。

残存聴力活用型人工内耳装用後

- ・高音部は電気刺激、低音部は音響刺激を併用する「残存聴力活用型人工内耳」を装用することで、聴取能を大幅に改善